

# いよいよ、湖南や甲賀が動き始める

10月6日、高教組と全教滋賀の両委員長は、湖南市と甲賀市を回りました。湖南市では、奥村教育長と懇談。奥村氏は、いろいろな思いをもっているようで、県教委に独自の案をもって申し入れを行っています。「石部高校を残して欲しい」という点で意気投合しました。

続いて、甲賀市と湖南市の議員と懇談しました。湖南市の議員から、6月段階で、請願が否決された経過が説明されました。ある議員が「膳所とか石山は、クラブも勉強も部活も活発だ。大規模の方が多様な進路が選択できる。小規模になったら部活で県大会や全国大会に行けなくなる」「若い先生が減ると言うが、今年は若い先生が増えていると聞いた」など、署名の主旨に一方的に「反論」。他に意見が出ないまま否決になったということです。

## 石部高校について突っ込んだ討論が

そして、次のような論議が進みました。

石部高校への地元石部中からの入学は10%程度。地理的条件もあり、多くの子が大津など他の地域に出て、反対に他地域から石部への入学が多い。それが学校と地域とのつながりを弱くし一定の「困難さ」を生んでいる。それもあり、地域全体として「石部高校を残して欲しい」という思いが湧き起こっているわけではない。しかし、石部高校の卒業生や親は「石部高校に行ってよかった」と思っている。石部高校を守り、地元からの入学者を増やせば、みんな行きたい学校になる。

歴史は浅いが、卒業生にとっては愛着のある高校だ。自分の娘の友だちが同窓会の会長をしている。生徒や同窓生に知らせることがとても大切だ。駅前で、チラシを配れば、大体の生徒が取ることになる。

## 甲賀が大きく変化している

甲賀市の議員は、状況の変化を語り、気運の高まりを指摘します。

甲賀市は、6月議会の文教常任委員会で、1人の議員の強い反発に合って採択できなかった。知事選挙を前にして「政治に利用されたくない」との警戒もあった。9月議会では、6月とほとんど同じ主旨の意見書が、全会一致で通った。この3ヶ月間に、全県も甲賀も大きく変わってきた。甲賀も湖北と同じ流れになっている。党派を超えた「甲賀の高校を守る会」ができるのではないか。

湖北や彦根・湖東に続き、いよいよ、湖南市や甲賀市が動き始めます。

以下の行動に積極的に参加して下さい。

18時～19時 駅前での署名・宣伝

10月13日(水) 長浜駅前 10月18日(月) 瀬田駅前

10月14日(木) 八幡駅前 10月19日(火) 野洲駅前

10月15日(金) 彦根駅前



この日は、午後から宣伝カーが回り18時～19時の行動に合流します。

土日作戦 宣伝と署名 16時から17時

10月9日(土) 草津駅テラス 10月23日(土) 石山駅テラス

その他の日程

10月16日(土) 湖北の高校を守るつどい(14:00～ 臨湖 多目的ホール)

10月23日(土) 伊香高の統廃合を考えるシンポジウム(19:00～木ノ本公民館)

10月25日(月) 3団体による知事への要請行動(11:00～11:20 知事室)

「湖北の高校を守る会」「彦根・愛知・犬上 高校を守る会」

「県立高校の統廃合を考える会」の3団体です。

11月3日(水) 県立高校をつぶすな 11・3県民の集い(14:00～米原公民館)

## 高校統廃合はストップせよ

速報 第24号 2010/10/8 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板上に貼るなどして下さい)